

金融市場NOW

実質GDP 2四半期ぶりにプラスへ

個人消費の回復が内需をけん引

- 内閣府が発表した2018年10～12月期の実質国内総生産は、前期比プラス0.3%となる。
- 相次ぐ自然災害により落ち込んだ個人消費が回復したことにより、内需全体を押し上げる。
- 景気に回復の兆しはあるも、米中貿易摩擦や中国経済の先行きについては注視が必要となるか。

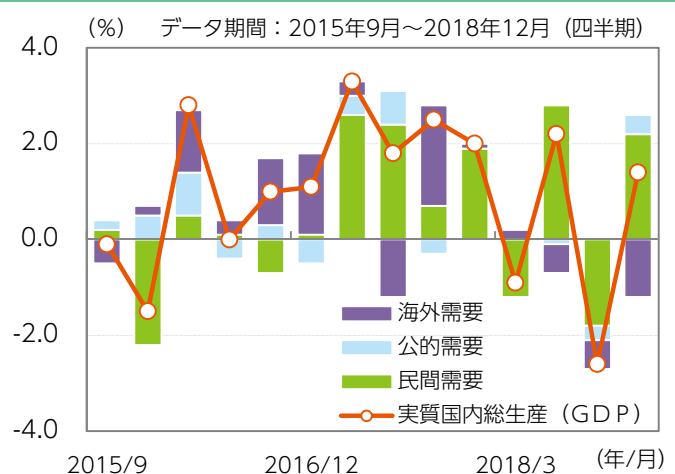
内閣府が2月14日に発表した2018年10～12月期の実質国内総生産（GDP、季節調整済み）速報値は、前期比プラス0.3%、年率換算ではプラス1.4%となりました（図表1、2）。プラスとなるのは2四半期ぶりです。2018年夏に西日本豪雨や台風21号など、自然災害が相次いだことなどによる個人消費の落ち込みが回復し、内需全体の押し上げに大きく寄与したものとみられます。

内需の内訳を見ると、GDPのおよそ半分を占める個人消費が前期比でプラス0.6%となり、マイナス0.2%となった7～9月期から回復しました。特に、飲食や宿泊、航空などのレジャー関連の回復が目立っています。住宅投資は4～6月期以降に着工された新築住宅の進捗状況が反映され、プラス1.1%となり、2四半期連続でプラスを維持しました。設備投資は生産用機械の伸びが寄与したことにより、プラス2.4%と全体を押し上げました（図表2）。

外需のうち輸出は、夏季の自然災害等からの反動増で自動車関連が回復するなどし、プラス0.9%と2四半期ぶりのプラスとなったものの（図表2）、中国を中心とした世界経済の鈍化により、情報関連財の輸出が伸びず、全体としての増加は7～9月期の落ち込みをカバーするほどではなく、限定的となりました。

GDP全体としてはプラス成長に回復したものの、外需の寄与度は引き続きマイナスのままとなりました。景気に回復の兆しはあるものの、長引く米中貿易摩擦や、さらなる鈍化が懸念される中国経済、英国の欧州連合（EU）離脱交渉など、先行きの懸念材料については引き続き注視していく必要があります。

図表1：GDPは2四半期ぶりにプラスへ



※実質GDP増減率の寄与度の内訳 (前期比、年率)

図表2：個人消費を中心に内需が回復

GDP 【年率換算】	0.3% (▲0.7%) 【1.4% (▲2.6%)】
個人消費	0.6% (▲0.2%)
住宅投資	1.1% (0.5%)
設備投資	2.4% (▲2.7%)
民間在庫	▲0.2% (0.1%)
政府消費	0.8% (0.2%)
公共投資	▲1.2% (▲2.1%)
輸出	0.9% (▲1.4%)
輸入	2.7% (▲0.7%)

※2018年10～12月期の実質GDP増減率 (前期比) の内訳
 *1 カッコ内は2018年7～9月期 *2 ▲はマイナスを表します。
 *3 民間在庫はGDPの伸びに対する寄与度を記載

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>